

2050年に向けた長期ビジョン「サステナビリティビジョン2050」(2016年に策定、2025年に更新)

NEXT SEKISUI HOUSE「30年ビジョン」やマテリアリティの取り組みにもつながるもので、E(環境)・S(社会)に関する2030年・2050年の目標を設定しています。

目指す姿	2050年のチャレンジ目標	2030年の目標	ESGでの対応
脱炭素社会へ先導 化石燃料への依存を続けることなく、エネルギー問題に制約されず、質の高い安全な暮らしが可能な社会を実現します。	住まいのライフサイクルにおけるCO₂ゼロ 住宅という製品の、材料購入から生産、販売、居住、解体までのライフサイクル全体において、再生可能エネルギーの利用も含めて、CO ₂ 排出量をゼロにします。	SBT目標の達成 スコープ1, 2およびスコープ3(カテゴリ11:居住)排出量をそれぞれ2013年度比で75%削減、55%削減することを目指します(SBT目標)。また、「RE100」加盟企業として事業活動で消費する電力の50%を再生可能エネルギーで賄います。	 E 環境
人と自然の共生社会へ先導 豊かな自然のネットワークは、私たちの暮らしを支える生態系サービスを守るだけでなく、人々の生活の質を改善し、つながりを強めることに貢献します。この機能を最大化し、人と自然の共生社会を実現します。	事業を通じた生態系ネットワークの最大化 森林減少・土地転換をゼロにする(Deforestation and Conversion Free)ために「フェアウッド」調達100%を実現します。住宅建築、まちづくりにおける緑化を通じて、生態系保全、防災・減災、快適性など、自然が持つグリーンインフラ機能を賢く利用します。	生物多様性の主流化をリード 地域の生態系に配慮した在来種中心の植栽提案「5本の樹」計画に基づく植栽本数について、年間100万本規模を持続し、都市緑化の一層の拡大を進めるとともに、標準的な積水ハウスの住宅において、「フェアウッド」調達100%を目指します。	 E 環境
資源循環型社会へ先導 すべての人が安定した暮らしを送るため、技術や経済システムの革新によって、天然資源だけに依存しない、リサイクル資源を持続的に活用する循環型社会を実現します。	住まいのライフサイクルにおけるゼロエミッションの深化 住宅を良質な資産として育てるため、住まい方や社会変化に対応する適切なリフォーム・リノベーションを提供。これらの過程で発生する廃棄物について、業界連携による社会インフラレベルでのゼロエミッションを実現します。	循環型事業の制度整備加速 廃棄物処理法の特例制度「広域認定制度」の対象範囲を拡張しながらストックビジネスへの対応を充実。同時にITを活用し、廃棄物回収の電子管理システムなどで管理の精度向上と効率的で円滑な運営を進めます。	 E 環境
健康・長寿先進社会へ先導 安全・安心・健康な住まいを提供し、グローバルレベルでの地域の課題を解決するとともに、成熟社会・高齢社会の先進国として、誰もが健康で誇り高く生活できる社会の形成を目指します。	住まいづくりを通じた健康・長寿の実現 安全・安心・快適に生きがいを持って住み続けられる、豊かな居住環境と地域コミュニティを整備し、良質な社会資産の形成に貢献します。「健康」「つながり」「学び」という無形資産を生み出し、長寿社会に寄与できる住まいづくりを実現し、最新技術の開発・活用により、住まいでの家庭内事故ゼロを目指します。	社会課題を見据えた新たな価値の創造 健康・長寿先進社会に向けて、社会における住宅の役割を継続的に果たすことを目指します。構造やインテリアなどの有形資産だけでなく「健康」「つながり」「学び」という無形資産に着目し、健康長寿をもたらす住まいづくりを推進して、人生100年時代の幸せを提供します。	 S 社会
ダイバーシティ社会へ先導 グローバルで多様な人々が互いに好影響を与え合いながら健康で幸せに活躍し、イノベーションを実現することにより、持続可能な社会の形成を目指します。	誰もが自分らしく能力を発揮できる社会の実現 多様な人々が、それぞれの個性を活かした能力を最大限発揮できる機会の提供と環境の整備を推進。イノベーション&コミュニケーションにより、社会に多様な価値を創出します。	ダイバーシティ&インクルージョンによる持続的成長 女性、障がい者、高齢者、外国人、LGBTQなど、さまざまな個性を活かし、持てる力を最大限に発揮できる経営を実践します。取り組みの成果、課題などを社会に開示してダイバーシティ経営の普及、促進に寄与します。	 S 社会